

じゅうにんといろ

十人十色

まほろば季刊誌 春・夏号

◇平成 25 年 8 月（まほろば広報委員会）

◇社会福祉法人 大原野福祉会

まほろば高齢者総合福祉施設

◇住所：京都市西京区大原野上羽町 39-1

◇電話：075-332-4165

施設長よりご挨拶

残暑の候ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、当法人の事業運営にご協力を賜りありがとうございます。

さて、まほろばでは全国老人福祉施設協議会が提起する科学的介護を実践するため、おむつゼロへの取り組みを行っています。前々回の本誌上で、排泄委員会の活動内容を紹介させていただきました。しかし、私たちの施設には、おむつゼロにする必要性を本当に理解しているのか疑問に思う職員が残念ながらいます。日々の業務に追われ、目先の仕事を機械的にこなそうとする職員です。トイレで排泄する事はごく普通のこと、パッドやオムツの中で排泄することは不自然なこと、その為には水分を1日1500mlを目標に摂取していただき、利用者様お1人お1人にあったタイミングでトイレに誘導させていただくことが必要なのです。つまり、こういった一連の論理は知識としてはあるが、本当に目の前の利用者様の自然な生き方のお手伝いをさせていただいているという意識をもって、仕事をしているか否かで、利用者様への接しかたやパッド交換のしかたが変わってくるということです。最近、お坊さんの説教を数日にわたって聴く機会がありました。説教師様は「みなさんは自分の顔をご覧になったことがあるでしょうか、また背中についた糸くずをみることが出来ますか。それぞれ鏡に映してみることは出来ますが、鏡に映っているのはあくまで鏡に映った顔であり、糸くずであり実体ではありません。すなわち、人間は最も身近な自分のことは自分が一番よく知っていると思っていますが、何も分かっていないことの方が多い、他人から指摘を受け、他人の行動を見て初めて気付く自分のことを謙虚に受け止めて生きることが、現世での幸福につながる。この『気づき』という言葉は、仏教の世界では最も重要な教義です。」と説かれました。まるで私共の施設に向けられたお説教のような気がしました。排泄介助での私の思いは、ほんの一例に過ぎません。今自分のやっている仕事が必要でどのような効果があるのか、注意すべき点はなにか、またこれらの仕事の後工程は他の職員がやりやすいか、利用者様は快適か等を考えながら介護にあたるべきなのです。職員のみなさんには、施設でのさまざまな場面で、さまざまなことに気づいてほしいのです。そして職員のみなさんにはこの「気づき」の意識を持って日々の業務に当たっていただきたいのです。施設全体で科学的な介護の実践による質の高いサービスの提供を目指す大前提として、私自身が襟を正して、説教師様の話に真摯に耳を傾ける必要があると「気づき」しました。

施設長 能瀬 英和

- ◆ 法人理念
利用者様の尊厳を守り、安心と笑顔のある暮らしを支援する。
- ◆ 基本方針
 - 共 同
私達は、利用者様がおだやかで、心豊かな毎日が送れるよう、利用者様と共同して生活を築きます。
 - 尊 重
私達は、利用者様の個別性、主体性を尊重した支援をします。
 - 向 上
私達は、専門性、資質の向上のため、常に自己研鑽に努め、信頼される職員になります。
 - 公 正
私達は、公平、公正な事業運営をします。
 - 交 流
私達は、地域に根ざした事業所となるよう、地域の方々とふれあいの機会を持ちます。

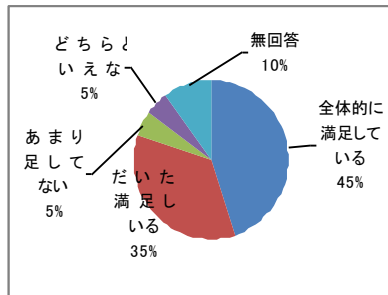
☆平成24年度アンケート結果

平成 24 年度のアンケート結果についてデイサービス担当後藤より報告させていただきます。



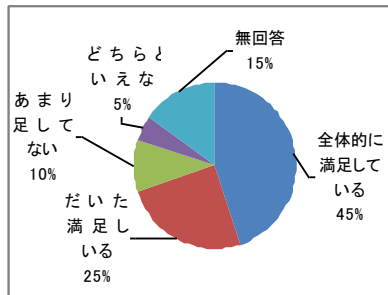
いつもご利用ありがとうございます。デイサービスの後藤です。アンケートにお答えいただいた利用者様またそのご家族様には重ねて御礼申し上げます。さてデイサービスでは今回 21 項目についてご質問させていただきました。その中でも次の 3 つの項目についてご紹介させていただきます。これらの項目は、今まほろばデイサービスが最も力を入れている「送迎」「昼食後のレクリエーション、クラブ、リハビリ体操」「毎週日曜日の行事」についてご満足いただいているかを問うものです。

①送迎



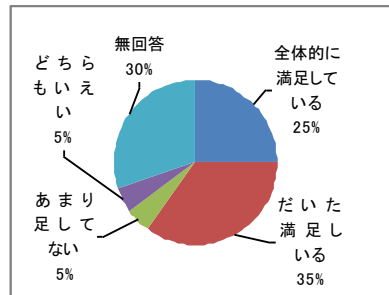
送迎を担当する職員は、交通事故だけではなく転倒やけがの無いように、安全を最優先に心がけて業務に当たっていますが、「あまり満足をしていない」と「どちらともいえない」をあわせると 1 0 %の方が、送迎サービスについて負の印象をお持ちであるということがわかりました。アンケートの結果には現れていませんが、日頃朝のお迎え時間についてご意見を頂くことが多く、送迎時間の事前連絡やある程度の時間の指定は、日々の送迎順に関係なく可能な限り承っていきたいと思います。また個別の対応が必要な場合は、お申し出下さい。

②レクリエーション、クラブ、体操



この項目が今のまほろばデイサービスにとっては、一番の課題ではないかと思っていましたが、結果はやはり、送迎サービスよりも 5 %多い 1 5 %の方が負の印象をお持ちでした。レクリエーションやリハビリ体操については、週や曜日によって種類や内容に変化をつけていますが、マンネリ化していることは否めないと思います。参加される方もだいたい同じ顔ぶれになってきています。新たなレクリエーション、リハビリ体操の取り入れと天候や気候に大きく左右されますが、可能な限り外出もとりいれて、バリエーションを増やしたいと考えています。

③行事



毎週日曜日に催している行事については、職員が毎回工夫を凝らして実施しているの、ある程度良い評価をいただけるのではないかと考えていましたが、結果はご満足頂いている方が 6 0 %に過ぎず、 3 0 %の方は無回答でした。この無回答の方は恐らく利用者様の家族様が行事に参加されたことがない利用者様だということは、想像に硬くありません。自信を持って実施している行事です。参加されたことのない利用者様はぜひ一度体験してみてください。ご覧になったことのないご家族様は一度見学に来ていただけたら幸いです。

☆苦情・相談について

		ショート	デイサービス	ヘルプ	居宅
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	特養	ステイ			
ケアに関して(サービスの内容について)	1	3	0	1	0
職員の態度に関して	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
合計	1	3	0	1	0

苦情、相談への対応については次のような手順で対応させていただきます。

1. お申し出の内容をよく聞く
 2. 原因を追究・改善策等の検討
 3. 相手の方への改善策等の説明
 4. 対策を講じる
 5. 実施後の確認
- 苦情、相談のお申し出については、より良いサービスを提供するために、これからも前向きに取り組んで行きたいと考えております。

☆ストレッチャー講習会



前号で紹介した「事故防止対策委員会」（以下「事故対」）の他にも一つ、「リスクマネジャー会議」という事故防止を目的にした組織がまほろばにはあります。活動内容は「事故対」の資料としている事故及びヒヤリ・ハット事例の集計をしたり、事故リスクの高い現場に実際に行って危険を指摘したり、ヒヤリ・ハットの実例の事例について具体的な危険について深く掘り下げて話しあって対策を実行したりと「事故対」より行動的で、実務的な役割を担っています。会合は月 1 回「事故対」の後に行なわれており、6 月の会合時に、ストレッチャー浴の際にヒヤリ・ハット事例が多いという事が資料により判明し、検討を加えた結果、ストレッチャーが導入されてほぼ 2 年になるのですが、危険の種類やその回避方法がノウハウとしてリーダーやストレッチャー導入時にメーカーから直接講習を受けた職員の間にはあるのに、入職 1 年未満の職員に正しく伝わっていないことがわかりました。そこで入職 1 年未満の職員と希望する職員を対象に講習会をひらきました。

特養たより

三線演奏会



5月8日本館3階の7フロアで三線(さんしん)の演奏を披露してくださったのは、ボランティアの玉城さんです。参加利用者様と職員で「花」や「なだそうそう」などおなじみの曲を歌ったりもしました。もし誰かが指笛を吹けたら皆さん踊りだしたかもしれません。楽しい演奏ありがとうございました。

ユニット習字クラブ



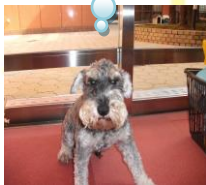
特養の利用者様も習字のお上手な方がたくさんいらっしゃいます。出来上がった作品は、普段はお部屋に飾らせていただきますが、敬老会やその他大きなイベントの時には、ユニット棟廊下に掲示します。ぜひ一度ご覧になっていただきたいと思います。

デイサービスたより



今年も毎日暑い日が続くようでしたので、少しでも涼を感じていただこうと、7月7日に参加利用者様全員で風鈴をつくりました。シールやイラストなどでオリジナルの風鈴に仕上げて頂き、最後に七夕の日らしく短冊に願い事を書いて頂きました。願い事が叶うようにスタッフ全員でお祈りしています。

涼を感じて頂けましたか



「七夕まつり」

少しでも涼しそうな企画をと考えて7月21日と8月4日に「甘味茶屋」「納涼会」を行いました。「甘味茶屋」では、おしゃべりしながら冷たいお抹茶や葛餅、フルーツてんこ盛りのアイスクリームを味わって、楽しい時間をすごしていただきました。「納涼会」では「流しそうめん」を行いました。夏らしい企画でしたが、そうめんをゆっくり味わっていただけたでしょうか・・・？



「甘味茶屋&納涼会」

秋季・冬季も様々なイベントを計画しておりますので、今後もまほろばデイサービスを宜しく願います。



居宅たより

「笑う」と癌細胞やウィルスを撃退してくれるNK(ナチュラルキラー)細胞が活性化され、免疫力が高まって体も心も強くなるそうです。「ゲラゲラ笑う」のも「微笑み」も効果があります。例えば身近な誰かを褒めてください、褒められた人がうれしくなって思わず微笑みが出る・・・これが「微笑み効果」です。今日から試してみませんか？

居宅介護支援事業所

宮下 真純
菅田 庸子
河野 真佐子
山本 時子



笑う事で元気になる♪

医務室たより

梅雨明けから一気に気温があがり、異常気象とも言える猛暑が続いています。熱中症と思われる症状で緊急搬送された方は、大阪・神戸・京都の3都市で、昨年同時期に比べ6倍にもものぼる状況だそうです。屋外では熱中症を発症する危険性が大変高まります。屋外での熱中症予防対策としては、時間を決め適度に涼しい場所で水分補給をすることです。また少しでも頭痛や吐き気・手足のしびれ等の体調不良があれば、直ちに脇の下と体全体に冷却処置を行い、症状が改善しなければ一刻も早く病院に行くことが肝心です。熱中症は幼児やお年寄りが特に発症しやすく、さらにお年寄りは屋内で熱中症になる事が多く、気がつかない間に症状が重篤になっているというケースもあります。人間の身体は60～70%が水分で出来ています。体内の水が不足すると脱水症状をおこし体温の調整をする汗が出なくなり体温が上がります。汗や尿が出なくなる為体内に老廃物が溜まり血液の流れが悪くなり全身機能障害を起こして死に至る事もあります。適度にエアコンを使い室内環境を良くし水分もこまめに取るよう心がけてください。まだまだ暑さが厳しいので、熱中症にはみんなで気をつけましょう。

体重の何%の水分が失われると・・・	症状や障害
2%	口や喉の渇き・食欲がなくなる
6%	頭痛・眠気・よろめき・脱力感・情緒不安定
10%	筋肉の痙攣・循環不全・腎不全
20%	意識喪失・命の危険

熱中症に気をつけましょう！！



看護師
山名 美千代

ボランティア募集中

『まほろば』では、ボランティアを随時募集しております。

特別な技術は必要ありません。

得意分野や興味のある活動を選んで参加してみませんか？

- 利用者の方のお話相手
- お散歩
- 洗濯物たたみ
- 手芸指導（簡単なお針や作品作りなど）
- 習字指導
- 入浴後のドライヤーかけ
- シーツ交換
- 喫茶 ほか

☆ボランティアありがとうございます☆

・大昭会様・楽朗演芸団様・打手出洋会様・アプリ様

綿製品の布

■余っていませんか？綿製品の布■
いらなくなったTシャツ・タオル・シーツなど、綿製品の布が余っているば、ぜひ譲ってください。